



## 平成27年2月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年12月12日

上場取引所 東 札

上場会社名 株式会社 サッポロドラッグストア  
 コード番号 2786 URL <http://www.sapporo-drug.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長  
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部長  
 四半期報告書提出予定日 平成26年12月15日  
 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 富山 睦浩  
 (氏名) 高野 徹朗

TEL 011-771-8100

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成27年2月期第3四半期の連結業績(平成26年2月16日～平成26年11月15日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年2月期第3四半期	39,919	8.6	515	△31.1	498	△33.9	322	△27.6
26年2月期第3四半期	36,757	4.8	748	△10.6	753	△8.8	445	0.1

(注) 包括利益 27年2月期第3四半期 320百万円 (△28.4%) 26年2月期第3四半期 446百万円 (0.2%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年2月期第3四半期	83.78	—
26年2月期第3四半期	115.67	—

(注) 平成25年8月16日付で、普通株式1株につき3株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり四半期純利益を算定しております。

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年2月期第3四半期	27,552	5,392	19.4
26年2月期	22,702	5,167	22.7

(参考) 自己資本 27年2月期第3四半期 5,355百万円 26年2月期 5,148百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年2月期	—	0.00	—	25.00	25.00
27年2月期	—	5.00	—	—	—
27年2月期(予想)	—	—	—	25.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無  
 配当金の内訳 記念配当 5円00銭

### 3. 平成27年2月期の連結業績予想(平成26年2月16日～平成27年2月15日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	53,850	8.6	740	△27.1	700	△30.4	440	△27.9	114.15

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有  
新規 1社 (社名) 株式会社リージョナルマーケティング、除外 1社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	27年2月期3Q	4,002,000 株	26年2月期	4,002,000 株
② 期末自己株式数	27年2月期3Q	147,345 株	26年2月期	147,345 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	27年2月期3Q	3,854,655 株	26年2月期3Q	3,854,692 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の実績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、上記予想に関する事項は、[添付資料]3ページ「(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間（平成26年2月16日～平成26年11月15日）におけるわが国経済は、政府の経済政策や日本銀行の金融政策を背景に、全体として緩やかな回復基調にあるものの、消費税率引き上げにともなう駆け込み需要の反動等により、個人消費に落ち込みが見られ、先行き不透明な状況で推移いたしました。

ドラッグストア業界におきましても、4月以降は消費者の節約志向の高まりと小売業全体での業種・業態を超えた激しい価格競争など、従来にも増して厳しい状況となっております。

このような状況のもと、当社グループといたしましては、「健康で明るい社会の実現に貢献する」を経営理念に掲げ、ドラッグストア事業、調剤薬局事業、その他事業を展開しており、当第3四半期連結累計期間におきましては、ドラッグストア11店舗を新たに出店する一方、経営効率化の観点からドラッグストア3店舗を閉店し、平成26年11月15日現在の店舗数は151店舗（ドラッグストア141店舗、調剤薬局10店舗）となりました。

セグメント別の業績は次のとおりであります。

#### (ドラッグストア事業)

ドラッグストア事業におきましては、お客さまに選ばれる店づくりの一環として、笑顔あふれる接客を行うことを目的とする「スマイルレジプロジェクト」を推進し、POSレジシステムのオペレーション効率化に向けたシステム改修とお客さまに満足いただけるサービスを提供するための従業員教育を積極的に取り組みました。

販売面では、消費税増税前の駆け込み需要を取込むための積極的なポイント販促に加え、エブリデー・セイム・ロープライスをお客さまに認知していただくため、店頭に設置する「サツドラマンスリー」（月間特売価格商品や健康・美容に役立つ専門情報などを掲載した販促用冊子）から特におすすめの商品を抜粋した「サツドラマンスリー通信」をチラシとして広告し、毎日安心してお買い物いただけることによる、新規顧客の増加とリピーターの確保に努めました。

コスト面では、ローコスト運営を推進するため、既存店でのフード売場標準化に向けた改装を24店舗で実施する一方、当社グループが今後とも継続的に成長し続けるため、新規出店にかかわる投資を行うほか、さらなる新規出店に備え新卒者を中心とする積極的な人員の確保に努めました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は384億25百万円（前年同期比8.9%増）、営業利益は3億94百万円（同37.4%減）となりました。

#### (調剤薬局事業)

調剤薬局事業におきましては、処方せん枚数の増加等の影響などにより、当第3四半期連結累計期間の売上高は13億62百万円（前年同期比1.3%増）、営業利益は1億6百万円（同36.5%増）となりました。

#### (その他事業)

不動産賃貸業が主たる事業である、その他事業は、当第3四半期連結累計期間の売上高は1億31百万円（前年同期比14.9%増）、営業利益は15百万円（同63.2%減）となりました。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は399億19百万円（前年同期比8.6%増）、営業利益は5億15百万円（同31.1%減）、経常利益は4億98百万円（同33.9%減）、四半期純利益は3億22百万円（同27.6%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における資産合計は、275億52百万円となり、前連結会計年度末に比べて48億50百万円増加となりました。その主な要因は、新規出店などにより売掛金が1億58百万円、商品が11億64百万円、流動資産のその他が5億10百万円、建物及び構築物（純額）が17億91百万円、土地が6億16百万円、投資その他の資産のその他が3億41百万円それぞれ増加したことなどによります。

当第3四半期連結会計期間末における負債合計は、221億60百万円となり、前連結会計年度末に比べて46億26百万円増加となりました。その主な要因は、買掛金が23億12百万円、短期借入金が2億円、1年内返済予定の長期借入金4億69百万円、流動負債のその他が3億75百万円、長期借入金11億66百万円それぞれ増加したことなどによります。

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は、53億92百万円となり、前連結会計年度末に比べて2億24百万円増加となりました。その主な要因は、配当金の支払により1億15百万円減少したものの、利益剰余金が四半期純利益により3億22百万円、少数株主持分が16百万円増加したことなどによります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、当第3四半期連結累計期間の業績を考慮し、通期の業績予想を修正いたしました。詳細につきましては、平成26年12月12日公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照下さい。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

第3四半期連結累計期間において、株式会社リージョナルマーケティングが新たに特定子会社になっております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年2月15日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年11月15日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,135,321	1,214,342
売掛金	664,871	823,712
商品	5,684,932	6,849,640
貯蔵品	23,971	18,245
繰延税金資産	186,048	186,048
その他	736,506	1,246,716
流動資産合計	8,431,652	10,338,705
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	3,673,468	5,465,283
土地	4,937,036	5,553,072
その他(純額)	1,567,716	1,610,583
有形固定資産合計	10,178,221	12,628,940
無形固定資産	156,942	217,680
投資その他の資産		
その他	3,950,441	4,291,448
貸倒引当金	△17,500	△11,500
投資その他の資産合計	3,932,941	4,279,948
固定資産合計	14,268,105	17,126,569
繰延資産	2,400	87,321
資産合計	22,702,157	27,552,596
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	6,447,352	8,759,698
短期借入金	-	200,000
1年内返済予定の長期借入金	2,018,260	2,488,176
未払法人税等	169,109	72
賞与引当金	208,398	371,690
ポイント引当金	134,800	-
その他	1,155,931	1,531,687
流動負債合計	10,133,851	13,351,324
固定負債		
長期借入金	6,101,245	7,267,446
退職給付引当金	205,357	226,652
役員退職慰労引当金	79,791	79,791
資産除去債務	183,009	259,249
その他	830,950	975,760
固定負債合計	7,400,353	8,808,899
負債合計	17,534,205	22,160,223

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年2月15日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年11月15日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	439,589	439,589
資本剰余金	481,788	481,788
利益剰余金	4,283,738	4,491,051
自己株式	△60,592	△60,592
株主資本合計	5,144,525	5,351,838
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,554	3,862
その他の包括利益累計額合計	3,554	3,862
少数株主持分	19,871	36,672
純資産合計	5,167,951	5,392,373
負債純資産合計	22,702,157	27,552,596

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年2月16日 至平成25年11月15日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年2月16日 至平成26年11月15日)
売上高	36,757,783	39,919,230
売上原価	28,207,789	30,535,457
売上総利益	8,549,993	9,383,772
販売費及び一般管理費	7,801,577	8,868,038
営業利益	748,416	515,733
営業外収益		
受取利息	764	1,506
受取配当金	949	963
受取手数料	13,121	8,449
固定資産受贈益	43,877	51,397
その他	33,674	28,415
営業外収益合計	92,388	90,732
営業外費用		
支払利息	72,238	75,715
支払手数料	12,351	32,300
その他	2,715	386
営業外費用合計	87,305	108,403
経常利益	753,500	498,063
特別損失		
店舗閉鎖損失	5,000	-
固定資産除却損	-	4,102
その他	-	3,742
特別損失合計	5,000	7,845
税金等調整前四半期純利益	748,500	490,217
法人税等合計	302,618	170,502
少数株主損益調整前四半期純利益	445,881	319,715
少数株主損失(△)	-	△3,237
四半期純利益	445,881	322,952

四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年2月16日 至平成25年11月15日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年2月16日 至平成26年11月15日)
少数株主損益調整前四半期純利益	445,881	319,715
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	966	307
その他の包括利益合計	966	307
四半期包括利益	446,847	320,022
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	446,847	323,260
少数株主に係る四半期包括利益	-	△3,237

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間(自平成25年2月16日 至平成25年11月15日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	ドラッグストア 事業	調剤薬局事業	合計		
売上高					
外部顧客への売上高	35,298,572	1,344,557	36,643,129	114,653	36,757,783
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	35,298,572	1,344,557	36,643,129	114,653	36,757,783
セグメント利益	629,304	78,026	707,331	41,085	748,416

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産事業等であります。

## 2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	707,331
「その他」の区分の利益	41,085
四半期連結損益計算書の営業利益	748,416

## Ⅱ 当第3四半期連結累計期間(自 平成26年2月16日 至 平成26年11月15日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	ドラッグストア 事業	調剤薬局事業	合計		
売上高					
外部顧客への売上高	38,425,420	1,362,088	39,787,508	131,721	39,919,230
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	16,050	16,050
計	38,425,420	1,362,088	39,787,508	147,771	39,935,280
セグメント利益	394,134	106,476	500,611	15,122	515,733

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産事業等であります。

## 2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	500,611
「その他」の区分の利益	15,122
四半期連結損益計算書の営業利益	515,733